

今月の聞き語り・・・きらり人 中山京子（なかやまきょうこ）さん



私は国富町本庄生まれです。与倉家の長女として生まれました。与倉という苗字は珍しいでしょう。旧本庄村は殆どが天領地だったので、その繋がりがああるかも知れません。地区では大きな農家で苗字のとおり大きな倉があり他の農家から住み込みで働くニセドンもいました。父は進学したかったそうですが、祖父から農業を継ぐことを命ぜられて進学を断念したそうです。しかし、子供たちには進学することをしきりに勧めてくれました。私にも県立宮崎第一高等女学校（現大宮高校）に行くように言われ

受験しましたが、田尻の集落からは私ひとりでした。クラスは菊・梅・竹・蘭の4クラスで、私は寮生活に入りました。そのころは米軍の空爆も次第に激しくなり、防空壕に幾度となく飛び込みました。礼儀作法の厳しい学校でしてね、防空壕の奥は先輩、出入口は新生と決まっています、身を守る緊急時の場合はそんなものどうでもいいのにと思いましたが「どんな時にも敬語や礼儀作法は忘れるな」という教えだったのでしょね。同期生の大半はお医者さんの娘さんでしたが、金があっても食糧難でした。自分のところは農家でしたので、あられやかきもちをみんなで食べて喜ばれたものです。夜は空襲対策で、電燈は風呂敷で覆って暗くすることを求められました。我が家から菜種油を持って行灯で勉強しましたが、油の匂いが髪の毛に沁みこんで困りました。終戦直前には、隊列を組み「花もつぼみも若櫻……」と大声で歌って赤江飛行場に行き、掩体壕を掘りましたが、苦労ともきつとも思いませんでしたよ。赤江飛行場には特攻の人もいたのですがどうなられたのでしょうかね。本庄の実家にも兵隊さんが4～5名寝泊まりしたそうで、厳しくても優しく母は皇后陛下と呼ばれたそうです。私の二人の子供は、それぞれ勉学に励み立派に社会的地位を築いてくれました。悲しかったことと言えば、三十年前、夫が他界する時に、「もう、何もいうことはなかったかね？」という言葉に夫婦春秋の思い出が回り灯籠のように巡りました。今は、亡き父母や夫、そして、優しい子供たちに、感謝しながらのしあわせな毎日です。有り難いことです。



シルバーコート新町広報

さくらの実 No.4

住宅型有料老人ホーム シルバーコート新町
訪問介護サービス なのはな
デイサービス さくらスクール





メダル獲得★



おいしい顔(◇)



箱の中身はなんだろう???



スイカ割・・・なんだけど

住宅型有料老人ホーム
シルバーコート新町

入居者募集

デイサービス
さくらスクール

利用者募集

●お問い合わせ●

0983-35-3400

■今月の食のイベントは、“冷や汁バイキング”西都の冷や汁は家の数ほど味が異なると言われるほどに多種多様である。それほど冷や汁の愛好者が多いということだろう。何より職員が驚いたことは100歳のAさんが冷や汁を完食したこと。楽しい団気が、食思を高

揚させたということ。
■Bさんは、冷や汁を食べながら泣き出した。「どうしたの?」と心配して尋ねると、「お母さんが、作ってくれた冷や汁を思い出した」とか。人それぞれの想いの異なる冷や汁バイキングになった。
■さくらスクール夏祭りは、深美顧問の互親組

の愛嬌のあるラッパから始まった。最初は新町ばあさんの率いる獅子舞3組。初めてとは思えぬ竹市・緒方・上村さんの獅子舞であった。演技のあとは、ご利益あらたな利用者の頭をパクリ、パクリ…と病気や災いの元を獅子が次々に食べていった。

■その次は利用者も一緒に担いだ鯛神輿が登場し、祭りも最高潮! 「わっしょい。わっしょい。」と大きな歓声が沸く中、互親組局長深美顧問の指令により、鯛神輿をゆらしたり高く持ち上げたりして舞台に鎮座した。神輿を担いだ利用者の皆さん「祭りに参加したのは

何十年ぶりかな。」と喜んでおられた。この後はゲームでの金メダル争奪戦で楽しんだあと、スイカ割り。職員の頭をポカリとするハプニングが起こるなど爆笑が絶えなかった。

